



第 51 回 澁川摂食嚥下研究会レポート

日 時：平成 29 年 12 月 5 日 (火)

午後 7 時 00 分～

会 場：澁川市福祉庁舎 4 階 大会議室

I テーマ：「口から食べられないときの栄養方法」

講師：澁川医療センター脳神経外科

合田 司 先生（摂食嚥下研究会会長）

冒頭、第 51 回目の摂食嚥下研究会について、今までの研究会は主に経口摂取と栄養や胃瘻について勉強してきたが、今回は、“澁川摂食嚥下できない時、研究会！！”にする・・・
食事形態や口腔内環境、訓練を行っても経口摂取できない時はどうするか？

当日の参加者、約 130 人→ 多職種のかたが (^_^)/~

参加状況 (人)

職種	参加人数
医師・歯科医師	13
薬剤師	2
保健師・看護師	15
歯科衛生士	9
ST・OT・PT	9
栄養士	10
MSW・相談員	1
ケアマネ	11
介護員	49
その他	8
合計	127



そもそも、摂取できない時とは？

- ・消化経路に器質的問題はないが、脳に何らかの問題あり、認知、咀嚼・嚥下が困難な時
- ・認知、咀嚼・嚥下に問題ないが消化経路が使用できない時 など

口から食べられない場合の水分・栄養投与方法は何種類？

4 種類、6 種類、8 種類、10 種類 …… (^_^;) 一番多かった答えは 6 種類

- 消化管を使う (6 種類) 経鼻経管栄養、胃ろう、腸ろう、経皮的食道胃管、間欠的食道経管栄養法、注腸
- 静脈を使う (3 種類) 末梢静脈栄養、中心静脈栄養、末梢静脈挿入式中心静脈栄養
- 皮下輸液 (1 種類)

～合田会長から～

研究会は今回で 51 回開催されていますが、振り返ると注射や輸液についての勉強会は今回が初めてでした。経口摂取できないときの栄養方法を理解することは、摂食嚥下研究会でも重要な事項だと思います。

受講者自身が食べられなくなったときどのような栄養方法を選択されるかの参考にしてもらおうのもよいでしょう。

II テーマ：「静脈栄養の基礎知識」

講師：渋川医療センター 薬剤師 富岡 由里 先生



日頃、渋川医療センターで薬剤師の仕事をしている富岡先生。

輸液の目的 ①水・電解質の補給
②栄養の補給 ③血管確保
④病態の治癒

体液の区分とその役割について
細胞内液と外液、外液はさらに
組織間液、血漿に・・・

今回も4業者が商品を紹介、参加者が熱心に説明を聞いていました。



渋川摂食嚥下研究会第51回！！
無事終了です。

司会進行川島先生、講師の合田先生、富岡先生 ありがとうございます。

★ 次回のご案内 ★

第47回在宅ケアネット渋川講演会（「第52回 渋川摂食嚥下研究会」合同開催）

日時：平成30年 2月16日（金）午後7時～
会場：プレヴェール渋川 2階
テーマ：「摂食嚥下障害における間接訓練・直接訓練の実際」

埼玉県総合リハビリテーションセンター
清水 充子 先生

参加方法：FAXで所属・職種・氏名をご連絡のうえ当日会場へお越しください。

参加費；三師会（医師・歯科医師・薬剤師）2,000円

その他関係者 500円（軽食、お茶付き）

連絡先：渋川地区在宅医療介護連携支援センター

高橋・小野・成田

〈住所〉 渋川市渋川(長塚町)1760番地1 ほっとプラザ2階

〈TEL〉 0279-26-3990 〈FAX〉 0279-26-3903

〈E-mail〉 shibu-renkei@mail.gunma.med.or.jp